



哺乳期子豚育成用飼料

にゅーとん

乳 豚



兼松アグリテック株式会社

製品特徴

1 フラボフォスフォリポールを抗菌性飼料添加物に採用

- 薬剤耐性菌の心配することなく使用が可能
- 腸内環境を良好な状態に維持
 - ▶有用菌には作用せず、有害菌にのみ作用
- 安心安全な抗生物質
 - ▶世界中で使用されているが、副作用の問題等は報告されていない

2 植物由来の抗菌・抗酸化作用を持つ原料を配合

レモンバーム



ポリフェノール的一种、
ロスマリン酸を含有
強い抗酸化・抗菌作用
ストレスの軽減や、病原菌の
増殖を抑制や疾患の予防が期待
※餌付・前期に配合

ぶどう種子抽出物



抗酸化力が強いポリフェノール
であるプロトシアニン等を
多く含有
離乳や暑熱によるストレスへの
抵抗の効果が期待

タケニグサ抽出物



離乳後のローソニア等に対する
抗菌の効果が期待
腸管内で抗炎症作用を発揮し、
下痢の防止や増体率・飼料要求
率の向上が期待
※中期・後期に配合



←野生のタケニグサ
兼松アグリテック最寄り駅、
南越谷駅ロータリーの
植え込みも生えていました！

3 酪酸菌を生菌剤として配合

- 有害菌のクロストリジウム、コクシジウム等への抗菌活性
- 腸管の栄養分である酪酸を産生し、腸管上皮細胞を増殖促進させ、吸収の効率を上げ増体へ寄与
- 抗炎症・抗潰瘍作用

腸管での作用

腸管上部（好気的環境）

枯草菌
好気性細菌の枯草菌が
酸素を消費し、
嫌気状態になる

乳酸菌

ビフィズス菌

嫌気性細菌の乳酸菌、
ビフィズス菌が増殖する
（有害菌の増殖は抑制）

腸管下部（嫌気的環境）

酪酸菌

より嫌気的な環境で酪酸菌が増殖し
産生された酪酸は腸管の細胞の
エネルギー源となる

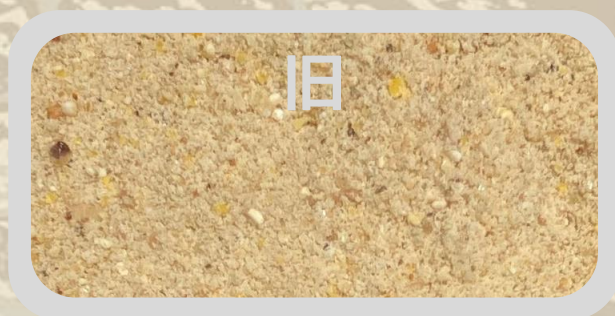
中期・後期配合の
アラビアガムは
酪酸菌やビフィズス菌
等のエサとなり
増殖を促進させる
相乗効果への効果が
期待！！

※離乳後の中期・後期のみ枯草菌・ビフィズス菌・アラビアガムが配合

4 粒度を子豚にとって食べやすさと扱いやすさに調整

従来よりも粒ぞろいの良いサラサラな顆粒で子豚が食べやすく、作業性の良い製品粒度に調整

※餌付・前期のみ顆粒加工



成分量(%)

	餌付	前期	中期	後期
粗たん白質	22.5	20.5	20	18.5
粗脂肪	4	2.5	3	3
粗繊維	2	2	3	4
粗灰分	7	8.5	7	7
カルシウム	0.7	0.6	0.7	0.7
りん	0.6	0.5	0.5	0.5
TDN	89	84	82.5	81.5

配合割合(%)

	餌付	前期	中期	後期
動物性飼料	47	31	16	9
穀類	30	32	47	56
植物性油かす類	3	15	16	16
そうこう類			1	1
その他	20	22	20	18



給餌例

通常の子豚の場合

今回のリニューアルで動物質性飼料の割合が増えているため、
子豚の体重次第では前倒しで使用することも可能です

	餌付	前期	中期	後期
日齢	7~	10~	約 23 (離乳後)	40~70
体重(kg)	2.5~	3.5~	6~	12~30
給餌量/頭(kg)	0.3	2	6	24

虚弱子豚が多い場合

栄養価の高い餌付を多く給餌し、
消化性の高い大豆類を多く含んだ前期の給餌期間を延ばすことで
離乳ストレスの影響を最小限に抑えることができます

	餌付	前期	中期	後期
日齢	7~	14~	約 30 (離乳後)	47~77
体重(kg)	1.5~	3.5~	6~	12~30
給餌量/頭(kg)	0.7	2.5	6	24



兼松アグリテック株式会社

〒343-0845 埼玉県越谷市南越谷1-20-10大樹生命南越谷ビル2階
TEL 048(971)7793 FAX 048(971)9946